



令和4年10月17日
令和4年度学校だより NO.32①
加古川市立平荘小学校

行事を振り返って

9月後半から大きな学校行事が続いていました。子どもたちに、chromebook (forms) を通じて感想を募集しました。子どもたちの感想の一部を紹介します。

5年生：自然学校<<自然学校でどんなところが成長しましたか？>>

- 5分前行動ができるようになりました。
- 5分前行動ができました。
- 相手の話を聞くことです。
- 自立ができました。
- 姿勢です。
- 友情の大切さを学んだと思います。
- 5分前行動ができました。
- しっかりと話が聞けました。
- 喋らずしっかり話を聞けるようになったことです。
- 一日のまとめをしおりに書けるようになりました。
- 聞き方を意識できるようになりました。
- 協力することを学んで、集団行動ができるようになりました。
- みんなと協力できるようになったところ！特に、登山で班のみんなと一緒に協力できたと思いました。
- 私は、話の聞き方が良くなったことと、静かに待つところが成長したと思います。
- 話を聞く態度や、みんなで集合するときに素早く動くところが成長したなと思いました。
- 5分前行動ができるようになりました。「友達と協力する大切さ」を学びました。
- 初めは班長になるのは嫌だったけど、班長を決めるときにみんなが投票したのがほとんど僕だったのがとても嬉しかったし、自然学校から帰ってきたら次も班長になりたいなと思いました。
- 家族の温かさや、班長としての責任感、自分だけだったら何ができるか（協力することの大切さ）などを学びました。
- 親と離れてお泊りをしたことがなかったけれど自信ができました。みんなで集まって行動することを通して、時間を守って行動したり、仲間と持ち物の確認をしたりすることが大切だと学びました。
- 5分前行動は大事ということ、姿勢よく相手の話を聞いていると自分も気持ちがいよいよ相手も気持ちよく話ができるということ学びました。
- いろんなことで話し合った一つに、『自然が大切か』『友達関係が大切か』を考えました。話し合っていたときにはすごく悩みましたが、やっぱりどちらも大切なので、次からは、みんなで話し合ったこと（決めたこと）はしっかり行動で表せるようにしたいです。
- 私は、自然学校で5分前行動ができるように成長したと思います。5分前行動をすると遅れないようになって、時間通りに話（活動）が進められました。
- よい姿勢で、人の目を見て、話を聞いたことです。よく話を聞いてそれを行動に移すと、失敗を少なくできる事がわかりました。
- 人の話をしっかり聞けるようになりました。けじめがつけられました。
- 【成長したこと】私は時間を守ることや、話を聞くときは下を向かず喋っている人の方を見るということが成長したと思います！自然学校に行く前は、この2つをあまり守れてなかったからです。
【学んだこと】お弁当箱の話です。たかがお弁当の空箱を山の頂上に置いて来てしまっただけでも、その1つのお弁当の空箱によって、自然を壊してしまうという大変な取り返しのつかない事になってしまうということを深く学びました。
もう一つは、懐中電灯の蓋の話です。懐中電灯の蓋を森に落としてしまって関係のある班で一生懸命探しても見つからなかったけれど、みんなの遊びの時間を使ってまで、みんなで一緒に探しに行くことにしました。そして、見つけることができました。『みんなで協力して諦めずに探す』『絶対に見つけないと！』というような気持ちがあったから見つけられたのかなと思いました。そういう気持ちは大切だなと思いました。このようなことを学びました。
- 話をきちんと聞くのが成長しました。話はちゃんと聞かないといけないことを学びました。
- 1つのことをするためには、友達の協力があることを学びました。
- みんなで協力しあって、目標を達成させる力が成長しました。自然を大切にすることの大切さを学びました。
- 自分たちだけで生活していくことの大変さを学び、お母さんの苦勞を改めて実感したのもっとお手伝いをしようと思いました。
- 話を聞く態度や行動が早くなったところが成長したと思います。そして、自然がどんなに大切かを学びました。
- 自然を大切にすることや、けじめをつけることができるようになりました。

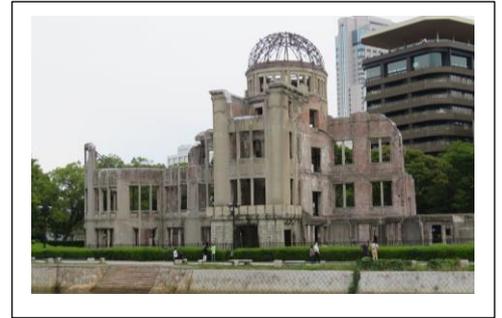
3日間で、子どもたちは、多くの学びがありました。
『自立・友情・協力・・・』
と、めあてを意識した3日間でした。



9月14日～9月16日に前半の自然学校が終了しました。新型コロナウイルス感染防止対策の関係で、泊を伴う自然学校は2泊3日の実施となりましたが、学び多き3日間でした。子どもたちの成長は目を見張るものがあります。10月下旬には、日帰りの自然学校を2日間計画しています。前半の学びを生かし、後半の自然学校につなげてほしいと期待しています。

6年生：修学旅行≪平和学習をして、どんなことを学びましたか？≫

- 戦争はやっぱりしない方がいいし、戦争でやけどや亡くなる人がいるのは苦しいです。語り部さんの話を聞いて、兄弟が亡くなったのは嫌だと思ったし、やっぱり改めて、戦争はとっても怖いことだと学びました。
- 内藤さんの話を聞いて、家族7人もいるのに、たった1人しか生き残れなかったと聞いて、びっくりしました。内藤さんも、ベンケイガニについて行っていなかったらと考えると恐ろしいです。
- 被爆者の内藤さんの話を聞いて「戦争、原爆の悲惨さや残酷さ」を改めて知りました。一番印象的だったのが、川に人が滑り落ちて川が遺体でいっぱいになって、血の川になったという話です。その様子を見た内藤さんはとても残酷に思ったのだなと感じました。修学旅行を通して「友達と協力することの大切さ」も知りました。みんなと協力するからできることがあったり楽しくなったりするのだと、とても学びました。
- 学んだことは違う平和です。最初は、『平和』とは、友達と喋れることだと思っていたけれど、修学旅行が終わって平和は普通の生活ができることだと知りました。
- 生きているのは当たり前ではないということです。
- 生き残っても、病気で亡くなってしまうことがあるのだと知りました。
- 戦争や原爆は自分が思っているより、怖いことでした。
- 原爆一発で、あれだけの被害が出るということを知りました。
- 原爆で、人々がどうなったかを聞いたことです。
- 原爆の悲惨さや戦争はしてはいけないことを改めて学びました。
- 語り部さんの話や原爆資料館で原爆の悲惨さがわかりました。
- 戦争や原爆が本当に悲惨なことだと学びました。
- 戦争の酷さを知りました。
- 原子爆弾でたくさんの方がつらい気持ちになってたくさんの方が命を落としたことです。
- 「戦争をしただめ」ということや、講師の先生が話された偶然防空壕に入って助かった話など色々なことを知って、やっぱり戦争はだめだなと思いました。そして、厳島神社の中に能舞台などがあってびっくりしました。
- 原爆が落とされて、家族を亡くしても頑張り、原爆のことについて語る人がいるということです。原爆が落とされてもいいことが一つもないということです。戦艦大和は攻撃ではなく守りのために作られたということも知りました。
- 原爆がどういうものかなどはわかっていたけれど、体験した人の話は聞いたことがなかったのでとても勉強になりました。実際には聞けないような話も聞いてよかったです。原爆が落とされてどれだけの範囲が被害にあったのかなどが知れました。
- 戦争で友達や家族を失うかもしれない、命は自分で守らないといけなかったことです。苦しくても、他に苦しんでいる人がいても、助かる可能性が100%とは限らないということを知りました。



6年生：修学旅行≪自分にできる平和活動はどんなことでしょうか？≫

- できるだけゴミ拾いをし、人に挨拶をする活動をしたいです。
- 挨拶をしたり、思いやりをもって行動したりすることです。
- 身近の人と仲良くして、ケンカをせずに関わることです。
- 友達や、家族に優しくすることです。
- 見てみぬふりをしないことです。
- 友達を思いやることです。
- いつも楽しく、色々な人と接して笑顔でいることです。
- 周りの人を大切にすることです。
- 友達、家族や身近な人を大切にすることです。
- 身近なことで誰かが落ち込んでいたら「大丈夫」などと声掛けをすることです。
- インターネットで、調べることや、資料を見るなどをして平和活動についての考えを深めたいです。そして、内藤さんの話を他の人に知らせるなど、戦争や原子爆弾のことを忘れないように、次の世代につなぎたいです。
- 友達と仲良くすることです。そして、原爆のことを身近な人に話すことです。
- 原爆の怖さや『生きている』のはたまたまだということ伝えることです。
- 戦争の歴史を正しく知ることです。
- 平和について、私は、修学旅行で学んだことを沢山のの人に知ってもらいたいなと思いました。
- 修学旅行で、学んだことを色々な人に伝えていきたいです。
- 原子爆弾など戦争のことを忘れないことです。
- 今の時代原爆を体験した人の話は聞けないことが多いので語り部さんが話したことを思い出して多くの人達に伝えていくことです。私も伝えられるようにしていきたいです。



私たちにできる平和活動の第一歩は、気持ちのよいあいさつから始まり、相手を思いやる気持ちを持ち続けることです。まず、自分の隣にいる人が笑顔で過ごせるようにしたいですね。もちろん、自分も笑顔で過ごせることが前提条件です。6年生は、平和について真剣に考えることができました。『自分にできる平和活動』について日々の実践を期待しています。